



巳年生まれの方に お話を伺いました！



徳川 由紀
昭和40年生まれ
坂東三丁目

新年、明けましておめでとうございます。

皆さま、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新春間もなく誕生日を迎えますが、自分が還暦となる頃には、人の話を素直に聞くことができ、余裕を醸し出しているような老人になっていると思っていますが、毎日目まぐるしく過ぎていく現実の中で、理想のイメージには程遠いことにガツカリするところがあります。

しかし、そのような毎日を振り返ってみますと、人生の半分以上の年月を好きな保育士という仕事に費やすことができたのは、家族や親族、職場の方々をはじめ近所の方々など多くの人とご縁をもち、助けていただいたお陰であり、いろいろな人との関わりの中で自分自身も育てていただいたと心から感謝しております。

子育て中の保護者の方から、坂町は子どもを産み育てやすいと聞きます。これからも未来を担う子どもや子育てに関わる方にとって、暮らしやすい町となるよう坂町のますますのご発展をお祈り申し上げます。



丸山 和美
昭和52年生まれ
小屋浦三丁目

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

主人の生まれ育った坂町小屋浦に来て、12年目の春、そして4度目の年女を迎えます。

県外から広島にやってきた私にとって、そのうちの半分以上を小屋浦で過ごしたことになります。

この間、2人の子ども達は保育園、小学校と進学し、今年には長子が小学校卒業を迎えます。

子ども達が学校や新宮社秋祭りや奉仕者として頑張る姿などを見ると、その成長を感慨深く感じます。

また、同時に、日中は仕事に出ている私達夫婦にとって、子育ては双方の両親や妹家族の協力、そして、子のキャッチボールの相手をしてくださるなどのご近所や地域の方々の温かな見守りに支えられていると実感しており、感謝の気持ちでいっぱいです。最後になりますが、これからも坂町が地域のつながりがある、子育てしやすい町でありますように願いつつ、益々のご発展と町民の皆様の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



加納 僚祐
平成元年生まれ
鯛尾二丁目

新年明けましておめでとうございます。

本年私は36歳を迎え、3回目の年男となりました。

坂町で育ち、進学を機に県外へ、その後就職で坂町へ戻りました。9年前結婚を機に坂町を離れましたが、昨年8月この町へ再び戻ってきました。妻と二人の子供に囲まれ賑やかに過ごしています。

今年度、長男が小学1年生となり、区域外就学により、1学期の間は町外から横浜小学校へ通っていました。集団登校をしておらず周囲に馴染めるか不安でしたが、近所の子供たちや登校を見守ってくださる鯛尾の方々のおかげで楽しく過ごしているようで、安心してしていると、改めて地域の温かさを実感しています。

これからは、地域の発展に貢献していけるよう努めてまいります。微力ではありますが、皆様と一緒に良い町づくりに取り組んでいけることを心から楽しみにしております。

最後になりましたが、坂町の益々のご発展と皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

坂町の役立つ
情報を発信中！



坂町公式LINE 友だち登録はこちら

